

- ▶ 涼しさ、外気、冷水、出血、^{ひざまず} 跪く、温かさ、夏など
- ◀ 朝、歩くこと、熱（体表面の痛みは除く）、排便後、締め切った暖かい部屋、前かがみになることなど

RELATIONS

- Complementary : Calbo vegetabilis, Lachesis, Nux vomica
- It follows well : Collinsonia, Nux vomica, Sulfur

●この植物は、2つのバッチのフラワーレメディとしても利用されています。

- Chestnut But : マロニエの芽（フラワーエッセンス）。経験や観察から学ぶことができずに、何度も同じ過ちをする人に効果があります。
- White Chestnut : マロニエの花（フラワーエッセンス）。嫌な考えが頭にこびりつき、いったんは振り払っても、すぐにまた思い出してしまう人に効果があります。また、妄想や葛藤にとらわれて精神的に苛まれている人や、仕事や日常生活に十分に集中することができない人にも効果的です。

Aethusa cynapium ドッグパセリ [動物愛好家]

Aethusa cynapium L.

BACK GROUND

Aethusaは、ヨーロッパからシベリアにかけて原産のセリ科の1年草または多年草の植物で、全草に微量の有毒成分が含まれています。



高さは、50～100cmで、外見がややパセリに似ています。パセリと比較すると、葉の色がやや濃く、傷つけるとニンニク臭のような匂いを放ちます。また、花の色はパセリが黄色いのに対して、この植物の花は白色です。

一般的には、Lesser Hemlock, Smaller Hemlock, Dog Parsely, Dog Poison, Fool's cicely, Fool's parsley, Devil's Wandなどと呼ばれています。

学名のAethusaは、ギリシア語のaitho輝くに由来し、この植物のつるつるした葉にちなんでいると言われています。種小名のcynapiumは、ギリシア語のkynos犬、ラテン語のapiumパセリの合成語です。

主な毒性成分はAethusinで、他の成分としてはシクチン、精油、ポリアセチレン誘導体、各種ビタミン、ミネラルなどがあります。

メディカルハーブとしては、鎮痙剤、催吐剤、胃腸薬などとして使用されてきました。

この植物の古い記述では激しい中毒症状が書かれていますが、含まれている毒成分の量が少ないことから、後世で行われている追試では、それほどひどい症状は認められていません。口腔内や食道、気道粘膜の発赤と胃や十二指腸のわずかな充血は認められています。

動物実験では、唯一モルモットで毒性が明確に現れています。

MATERIAL

植物全草を実が熟す前に採取したもの

FIRST PROVING

Hartlaub (1828)

MIND

Aethusaタイプは、意気消沈していて、ひどい場合には茫然自失状態のこともあります。物腰は静かで控えめですが、心の内側は強い感情をもっています。見

た目は、老けた顔に見えます。自分は一般の人と違うことを認識していて、社会から離れて自分の世界をつくりあげています。

このタイプは、動物が何よりも大好きです。人生のすべてを動物のために捧げようとしたり、異常なほどの愛情で自分のペットに接します。たくさん動物を飼って、囲まれて暮らすのも大好きです。動物には話しかけますが、人には話しかけようとしません。人とのコミュニケーションではトラブルを怖れるためです。これは、乳幼児の頃の授乳時の問題のために、母親から受ける愛情に歪みが生じてしまったことが、潜在的に起因している場合があります。動物は裏切らないので、安心感が得られるのです。

夜寝ていても息苦しい感じがして、何度も目が覚めてしまいます。息苦しさをなくすために窓を開けます。

病気が進行すると、眠るのが怖くなります。二度と起きないのではないかとさえ思います。そのため、外科手術の麻酔にも恐怖心があります。

牛乳を飲むと吐いてしまいます。喉は渇きません。

AFFINITY

Aethusaは、主に脳、神経系、消化器系、腺組織、肝臓などに作用します。とくに、乳幼児の牛乳による胃腸のトラブルによく使われます。また、夏季に使用頻度の増えるレメディです。

CLINICAL APPLICATIONS

■消化器系

- ・新生児、乳幼児の胃腸炎：しばしば、牛乳や牛乳成分がたくさん含有されている食事などの後に起こしやすい傾向があります。胆汁の混ざった緑色っぽい下痢になります。嘔吐や下痢の後に眠気がくると

があります。

- ・牛乳（乳糖）不耐症：牛乳を飲むと吐き出してしまいます。

■神経系

- ・記憶力の欠如、注意力の欠如：とくに、栄養障害や胃腸炎で落ち着かない乳幼児に考慮すべきレメディです。不安で泣き叫ぶこともあります。ボーッとした状態とイライラした状態が交互に来ることがあります。また、過度の詰め込み教育により、突然、勉強を受け入れなくなってしまった学生に使用することもあります。
- ・痙攣：眼球が下方向に向きます。母指が硬直することもあります。

■その他

- ・湿疹：皮疹や発疹ができやすい傾向があります。鼻の頭によく湿疹ができます。
- ・気管支炎：夜中に何度も息苦しくなって、圧迫感から窓を開けたくくなります。
- ・耳漏：耳道の閉塞感が強くあります。耳道内の熱を感じます。
- ・乳幼児の授乳時の問題

MODALITY

- 外気、外気の中を歩くこと、休息、会話、頭にバンドをきつく巻くことなど
- ◀ 牛乳、コーヒー、嘔吐や下痢の後、飲食後、暖かい気候、夏、菌生、頻繁な授乳など

RELATIONS

- ・Antidote to：Opium
- ・Complementary：Calcarea carbonica, Silica

Agaricus muscarius ベニテングタケ [痙攣、筋肉のふるえ、てんかんなどの神経系の異常]

Amanita muscaria (L. ex Fries) Hooker
Amanita muscarius L.

BACK GROUND

Agaricus muscariusは、世界各地に自生するハラタケ類テングタケ科テングタケ属に属するキノコで、一般的にベニテングタケ、Fly agaric, Scarlet cap, Toadstoolなどと呼ばれています。

Fly agaricは、このキノコが蠅を殺す作用をもってに由来します。夏から秋になると、シラカバやダケカンバなどの林の林床に点々と群生します。

傘は、はじめのうちは鐘形で、最後にはほとんど平らに開きます。径は6～15cm、時に20cmくらいまで